

U3800 シリーズ CSV/XML VIEWER 取扱説明書

1	概要	2
1.1	動作環境	2
1.2	商標について	2
2	使い方.....	2
2.1	使用プログラム.....	2
2.2	使用方法	2
2.3	フォーム	4
2.4	機能.....	5
2.5	メニューバー	5
2.6	横軸が Log 表示の場合	6
2.7	オプション	7
2.8	注意事項	7

Creation/ Modification	Date	Author	Content
Version 2.0	2012.10.22	H.N WJ	Creation
Version 2.1	2013-02-01	H.N WJ	Software version up

1 概要

本プログラムは、U3800 シリーズで取得した CSV・XML データをエクセルに展開させるためのプログラムです。

1.1 動作環境

本アプリケーションの動作環境

必要ソフト : Excel2003、Excel2007 のいずれか
OS : WindowsXP、Windows7

: Excel2007 では Excel2003 と動作が異なります。
Excel2003 以前のバージョンでは動作しません。

1.2 商標について

- ADVANTEST は、(株)アドバンテストの商標です。
- Visual Basic 6.0, Visual Basic 2008 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の製品名は、それぞれの所有者の商標です。

2 使い方

2.1 使用プログラム

プログラムは「CSV-XMLViewer_ver2.1.exe」を使用します。

2.2 使用方法

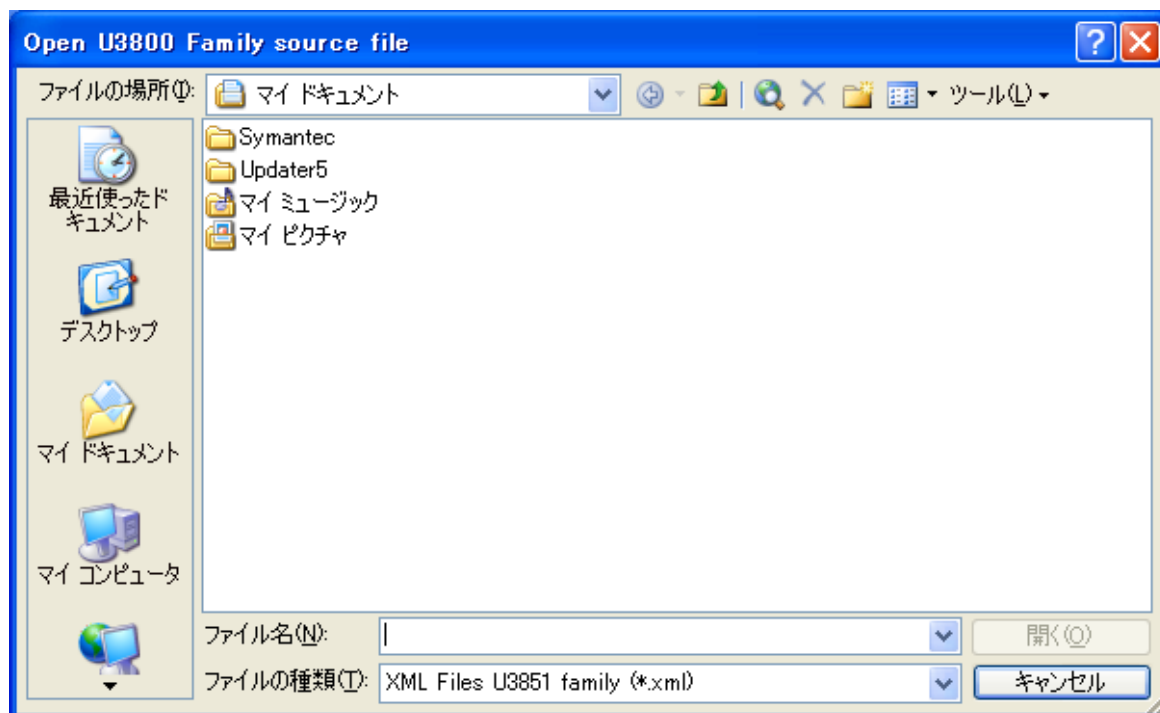
1. 本プログラムを起動すると、以下のフォームが表示されます。



参考図1 フォーム

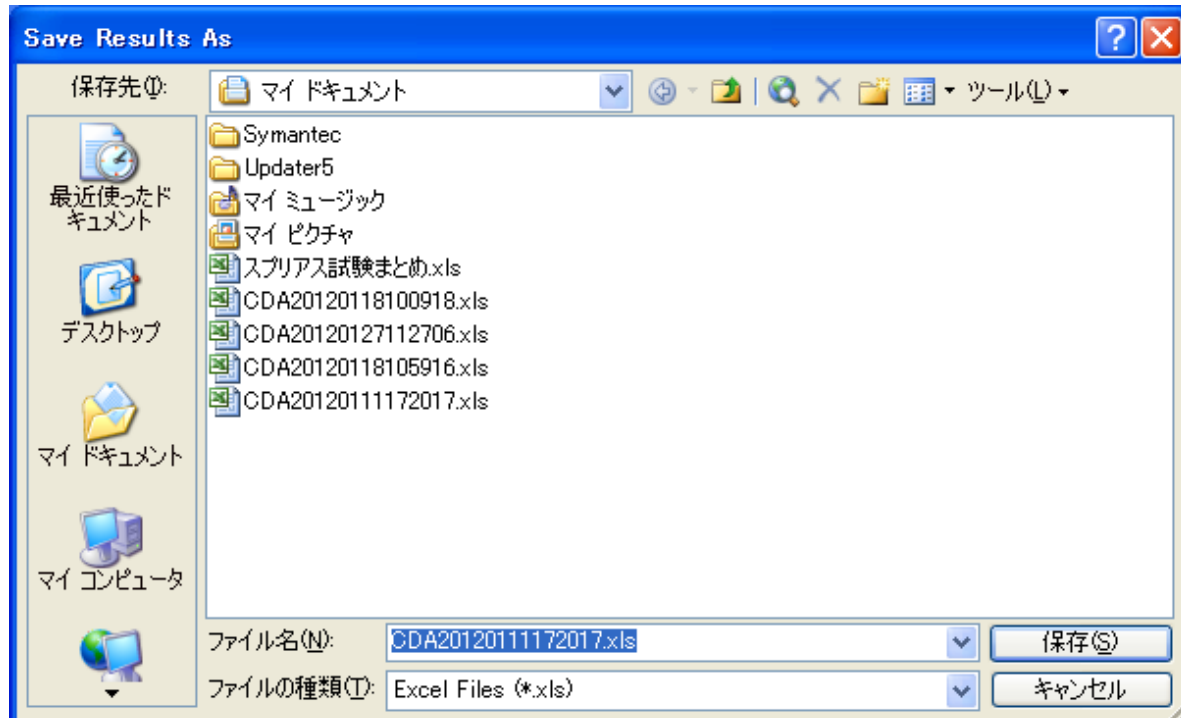
「Start」ボタンを押して、プログラムを開始します。

2. 最初に展開したいファイルを指定します。



ファイルの種類で使用する形式 (XML、CSV) を選択します。
展開したいファイル名を入力し「開く」を押します。

3. 保存先のディレクトリとファイル名を指定します。



「保存」ボタンを押すと、ファイルが展開されます。

4. プログレスバーが 100%になると終了です。

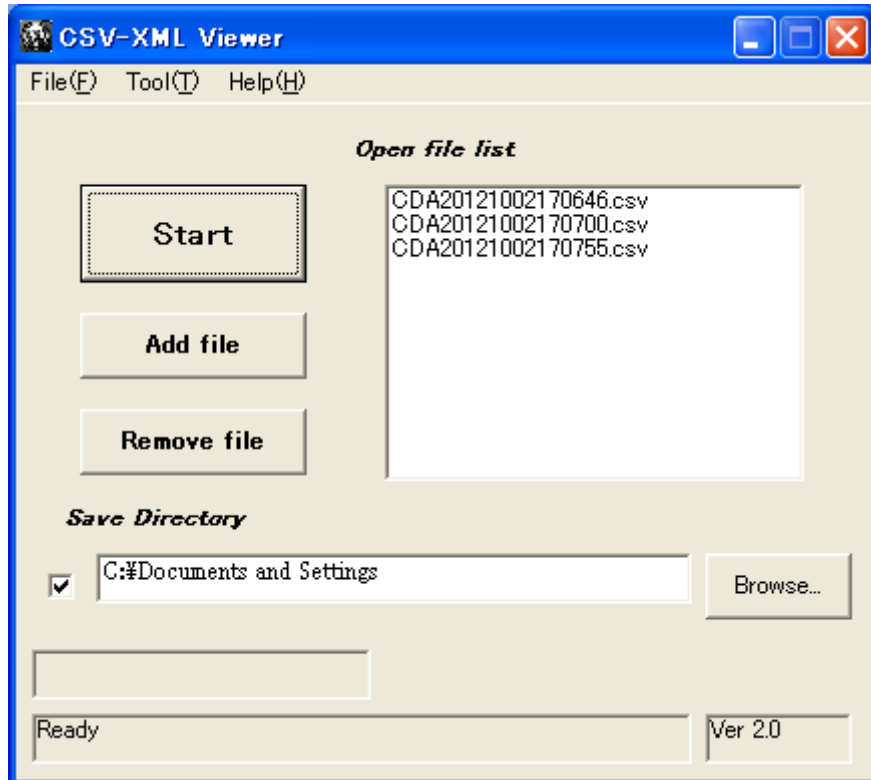
2.3 フォーム

フォームの各ボタン、表示について説明します。（詳しい使用方法については 2-4 機能を参照）



- 「Start」ボタン ・・・展開を開始します
- 「Add file」ボタン ・・・「Open file list」欄にファイルを追加します
- 「Remove file」ボタン ・・・「Open file list」欄から選択したファイルを除きます
- 「Open file list」欄 ・・・展開させるファイルを表示します。（ 2-4_1 . 展開リストの作成）
- 「Save Directory」 ・・・保存するディレクトリを表示します。（ 2-4_2 . 保存ディレクトリの設定）
- 「プログレスバー」 ・・・プログラムの進捗度を表示します
- 「メッセージ」 ・・・現在の動作内容を表示します

2.4 機能



1．展開リストの作成

「Open file list」欄に展開させるファイルのリストを作り、一度に複数のファイルを展開させることができます。

リストの作り方

- ・「Add file」ボタンを押し、展開させるファイルを選択する
- ・展開させるファイルを「Open file list」欄にドラッグ＆ドロップする（複数のドラッグ＆ドロップ可）

リストからファイルを削除したい場合は、削除したいファイルを選択し「Remove file」ボタンで削除します。

2．保存ディレクトリの設定

フォームの「Save Directory」欄に展開先のパス（ディレクトリ）を入力しておく
保存先を指定せずに指定したディレクトリに保存することができます。

アドレス入力欄のチェックを外すと、展開先のパスは無効となります。
チェックボタンをクリックすると設定が変わります。

3．アイコンヘドラッグ＆ドロップ

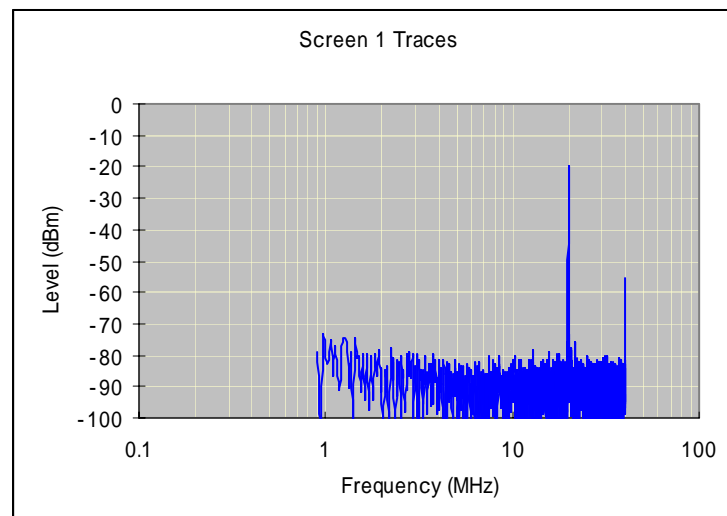
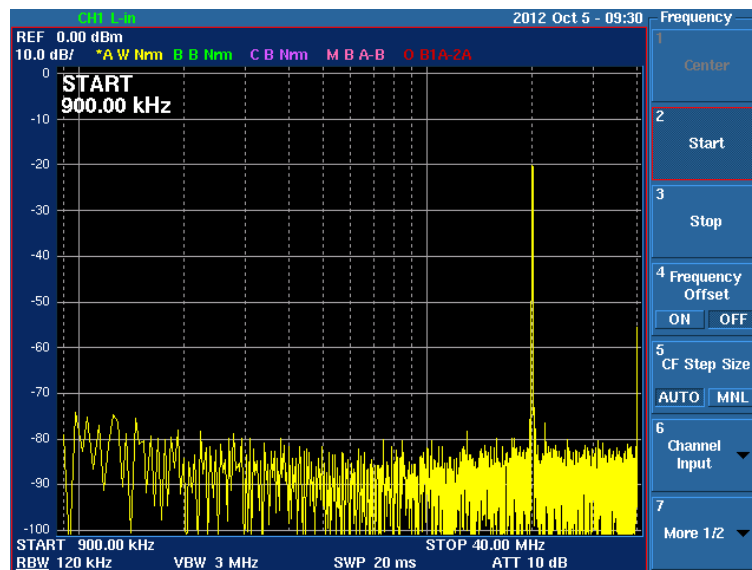
プログラムを起動させずに、アイコンにファイルをドラッグ＆ドロップすることで、
ファイルを展開させることができます。
複数個まとめたドラッグ＆ドロップも可能です。

2.5 メニューバー

File	Save	: 展開先のパス、Option 設定を保存します
	Add file	: リストにファイルを追加します。
	Remove file	: 選択されているファイルをリストから削除します
	Remove all file	: リストのファイルをすべて削除します
	Start	: データからエクセルへの展開を開始します
	End	: プログラムを終了させます
Tool	Option	: 設定の変更を行います
Help	version	: 本ソフトのバージョンを表示します
	Excel version	: インストールされている Excel のバージョンを表示します。
	OS version	: OS のバージョンを表示します。

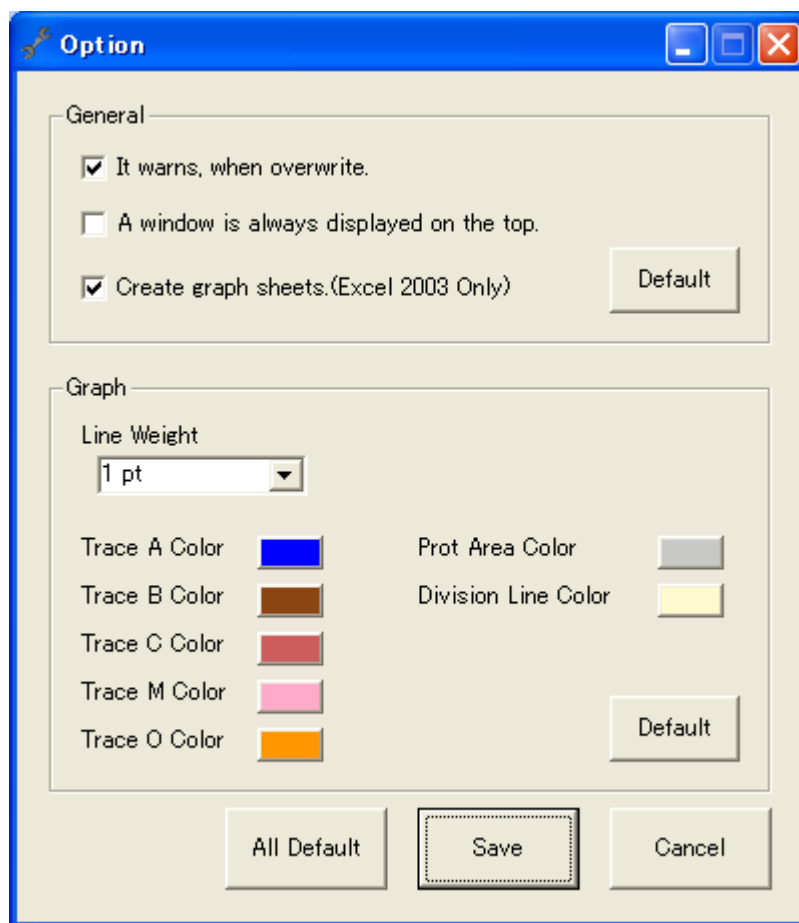
2.6 横軸が Log 表示の場合

横軸が Log 表示のデータを表示する場合、U3800 シリーズと本プログラムでは表示波形が異なります。
U3800 シリーズの場合は Decade の途中から表示されますが、エクセルでグラフを作成する場合は Decade の途中から表示することができません。



2.7 オプション

メニューバーのオプションを選択すると、以下のようなフォームが表示されます。



展開の方法や、グラフの設定の変更を行うことができます。

1. General 項目

ファイルの展開方法についての設定をします。

設定項目

- 展開するファイルが存在する場合の上書き確認 ON/OFF
- フォームを常に TOP に表示する ON/OFF
- 展開するファイルにグラフシートを作成 ON/OFF

2. Graph 項目

展開させるグラフの設定を行います。

設定項目

- グラフのラインの太さ
- グラフのラインの色
- グラフの背景色
- グラフ目盛の色

「Save」ボタンで設定を保存し反映させます。

2.8 注意事項

使用する際の注意事項

本プログラムは同じ階層に「.ini」ファイルを作成します。変更は行わないようお願いします。

本プログラム起動中はエクセルを操作しないでください。